

日置市観光ガイド通信

第61号 2019. 1.4日発行

日置市観光ガイド協会：〒899-2502 鹿児島県日置市伊集院町徳重 285 番地 12 電話：099 - 248 - 7380

e-mail：kikaku02@hiokishi-kankou.sakura.ne.jp(ご意見、ご感想はこちらへどうぞ！)

新春のお慶び申し上げます。ガイド協会、今年も一生懸命、日置市の観光地、物産品の案内(P.R)を奨めてまいります。本年は「猪突猛進」で走ります どうぞよろしく願い申し上げます。日置市観光ガイド協会一同

イチョ狩り情報：伊集院町(フェスト館) 東市来町(片平観光農園)

フェスト館：1月4日～(☎099-273-9525)

片平観光農園：1月5日～(☎099-274-6183)

お出かけプチ情報：初詣スポット



稲荷神社 (東市来町)



徳重神社 (伊集院町)

徳重神社：祭神は島津義弘公で、明治の初め神仏分離令によって廃寺となった妙円寺の跡地に明治4年に建立された。

妙円寺：伊集院町
島津義弘公の位牌が
安置されている



島津義弘公没後 400 年(1535～1619) 現代に生きる



島津義弘公の雪化粧騎馬像

戦国武将の義弘公は何故現代人にも人気があるのか、その生き様について思いをはせると、●生涯に50回以上の戦に出陣し、生き延びた慶長5年の関ヶ原の戦は、敵地徳川の陣地に果敢に突撃し敵中突破をして壮絶な薩摩への帰還を果たした。●祖父日新公や父島津貴久の教えを守り、兄弟4人力を合わせ乗り切り三州統一を成し、秀吉の兄弟分裂工作にも冷静に対処した。●家臣を大事に厳寒の「朝鮮の役」では家臣の誰一人凍死をするものはいなかった。又家臣の子供の成長の節目には館に呼び成長を喜び、子供の将来を期待する言葉をかけた。●又、大へんな愛妻家で夫人には「今夜もそなたの夢を見た・・・」と手紙を送るなど家族を思いやる幅広い心の武将でもあり、花も実もある武将義弘公は、男のロマンと野望をもって生きてきた愛される武将。それが現代人にも通じる生き様が魅力といえる。



美山の窯元
心齋窯 (東市来町)



～日置市クイズ～

Q60 島津義弘公没後何年でしょうか？答えは本文の中にあります！